

平成 28 年度  
第二回うるま市補助金審査委員会における意見、評価まとめ

日 時 平成 28 年 9 月 8 日（木）午前 9 時～12 時 30 分

場 所 本庁舎東棟 3 階防災会議室

出席委員 佐藤 学（委員長）、福原 徹（副委員長）、渡久地 博之、園崎 香代子、池原 トモ子、玉栄 章宏、高江洲 康愛、濱端 義正、栢割 進、町田宗康、牧門 司（計 11 名）

欠席委員 新城 基樹

事務局員 宮城課長、瑞慶山係長、嘉手納、徳元、當真

担当課 教育総務課 平川課長、長谷川係長、徳盛  
市民協働課 神田係長、久高  
企業立地雇用推進課 金城課長、松岡係長、伊藝、大城  
介護長寿課 古謝課長、座喜味係長、前徳

うるま市児童生徒の派遣費補助金（中学校大会派遣費助成金）（教育総務課）

「うるま市児童生徒の派遣費補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「A」：更に充実させる方向で見直し

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

現在、中学校体育連盟主催の派遣に関しては、中学校体育連盟が契約している旅行会社の見積りを採用している。事務負担軽減のため、というのは理解できるが、合宿や遠征を請け負う旅行会社は多いため、複数の見積もりを把握し経費削減に努める必要があると考える。

また、選抜大会や地域団体の派遣費も補助対象として拡大することや、文科系活動（マーチングバンド等）への補助費を増額する等、より多くの児童生徒が利用できるよう、検討していただきたい。

## 生活交通路線維持費補助金（市民協働課）

### 「生活交通路線維持費補助金」の評価まとめ

#### ◆総合評価

「B」：現状のまま継続

#### ・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

交通路線に関しては、維持していかなければならない現状の中においても、常に運用の検証・見直しを行い、効率化を図るべきである。

担当課としても実証実験やデータの取得、事業者との協議、地域振興までを視野に入れた取り組みを行うなどの努力も見られる。

今後もバス事業者と連携して、公共交通がないと困る市民のためのルート拡大に努め、イベントや観光客などの経済的な観点からの事業展開も図られたい。

## うるま市シルバー人材センター運営補助金（企業立地雇用推進課）

### 「うるま市シルバー人材センター運営補助金」の評価まとめ

#### ◆総合評価

「C」：効率化・コスト削減の方向で見直し

#### ・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

担当課の説明から、計画性をもって補助金の減額を行っていること、他市と比べて極端な給与水準ではないこと、全体の人件費等の抑制を図っていること、事業委託への転換を検討していることなど、若干の改善は見られた。

これまで補助金の縮小・廃止を前提とした見直しのD評価であったが、中長期的な視点による会員の増加、自立に向けた事業展開、補助金の縮小・削減を継続して行うということで、評価をCとした。

今後も事業内容の充実や効果的な事業運営、経営基盤の強化、人的な資質の向上など、不断に取り組むことは当然であり、自立への改善努力を強く求める。

## 駐留軍離職者センター助成金（企業立地雇用推進課）

### 「駐留軍離職者センター助成金」の評価まとめ

#### ◆総合評価

「C」：効率化・コスト削減の方向で見直し

#### ・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

資料作成について、指標や数値等には沖縄県全体中のうるま市の比率の記入を希望する。

国や県は、復帰以前（米国統治下）の案件を処理することができない。また、基地内の立ち入りが厳しく、証明書や証言などの取得が困難であることから、細やかで的確なサポートや処理を行う離職者センターの存在意義は理解できる。

当初は再雇用相談が中心だったものが、現在ではアスベスト訴訟や生活問題についての相談も増加しているため、制度の周知を積極的に行っていただきたい。

今後のセンターの運用の仕方を、該当する自治体で長期的な見直し・体制づくり（センターをこれからも長期的に運用するか・しないか、運用するならどのような形で運用していくか）について検討していただきたい。その議論の先導役を務めていただきたい。

## 中部地区老人クラブ連合負担金（介護長寿課）

### 「中部地区老人クラブ連合負担金」の評価まとめ

#### ◆総合評価

「D」：縮小・廃止を前提とした見直し

#### ・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

担当課が、負担金に対する厳正な自己評価を行っていることを高く評価したい。

中部地区老人クラブ連合会は、地域老人クラブからの分担金も徴収しており、更なる会員増を促進し、自主財源確保に努める必要がある。

一方で、総支出のうち人件費が約60%となっている。このような割合の運営に疑問を感じる。

中部地区老人クラブ連合会が要望する負担金算定に関し、構成する高齢者介護福祉担当課の審査等を経て、その意見が反映できるよう、透明で公正な議論の場を設け、効果的な運営につなげるために積極的な指導をしていただきたい。